別離

中原中也

青空文庫

1

さよなら、さよなら！
　いろいろお世話になりました
　いろいろお世話になりましたねえ
　いろいろお世話になりました

さよなら、さよなら！
　こんなに良いお天気の日に
　お別れしてゆくのかと思ふとほんとに辛い
　こんなに良いお天気の日に

さよなら、さよなら！
　僕、午睡（ひるね）の夢から覚めてみると
　みなさん家を空（あ）けておいでだつた
　あの時を妙に思ひ出します

さよなら、さよなら！
　そして明日（あした）の今頃は
　長の年月見馴れてる
　故郷の土をば見てゐるのです

さよなら、さよなら！
　あなたはそんなにパラソルを振る
　僕にはあんまり眩（まぶ）しいのです
　あなたはそんなにパラソルを振る

さよなら、さよなら！
さよなら、さよなら！

2

　僕、午睡から覚めてみると、
みなさん、家を空けてをられた
　あの時を、妙に、思ひ出します

　日向ぼつこをしながらに、
爪摘（つめ）んだ時のことも思ひ出します、
　みんな、みんな、思ひ出します

芝庭のことも、思ひ出します
　薄い陽の、物音のない昼下り
あの日、栗を食べたことも、思ひ出します

干された飯櫃（おひつ）がよく乾き
裏山に、烏が呑気に啼いてゐた
あゝ、あのときのこと、あのときのこと……

　僕はなんでも思ひ出します

僕はなんでも思ひ出します
　でも、わけて思ひ出すことは
わけても思ひ出すことは……
――いいえ、もうもう云へません
決して、それは、云はないでせう

3

忘れがたない、虹と花
　忘れがたない、虹と花
虹と花、虹と花
どこにまぎれてゆくのやら
　どこにまぎれてゆくのやら
（そんなこと、考へるの馬鹿）
その手、その脣、その唇の、
　いつかは、消えてゆくでせう
（霙とおんなじことですよ）
あなたは下を、向いてゐる
　向いてゐる、向いてゐる
　さも殊勝らしく向いてゐる
いいえ、かういつたからといつて
　なにも、怒つてゐるわけではないのです、
　怒つてゐるわけではないのです
忘れがたない虹と花、
虹と花、虹と花、
（霙とおんなじことですよ）

4

何か、僕に、食べさして下さい。
何か、僕に、食べさして下さい。
　きんとんでもよい、何でもよい、
　何か、僕に食べさして下さい！

いいえ、これは、僕の無理だ、
　こんなに、野道を歩いてゐながら
　野道に、食物、ありはしない。
　ありません、ありはしません！

5

向ふに、水車が、見えてゐます、
　苔むした、小屋の傍、
ではもう、此処からお帰りなさい、お帰りなさい
　僕は一人で、行けます、行けます、
僕は、何を云つてるのでせう
　いいえ、僕とて文明人らしく
もつと、他の話も、すれば出来た
　いいえ、やつぱり、出来ません出来ません。

（一九三四・一一・一三）

青空文庫情報

底本：「中原中也詩集」角川文庫、角川書店
　　1968（昭和43）年12月10日改版初版発行
　　1973（昭和48）年8月30日改版13版発行
入力：ゆうき
校正：木浦
2013年6月19日作成
青空文庫作成ファイル：
このファイルは、インターネットの図書館、青空文庫（http://www.aozora.gr.jp/）で作られました。入力、校正、制作にあたったのは、ボランティアの皆さんです。

別離

中原中也

2026年10月1日　第二版

奥　付

発行　　青空文庫

URL　　http://www.aozora.gr.jp/
E-Mail　　info@aozora.gr.jp

作成　　青空ヘルパー　　赤鬼@BFSU
URL　　https://aohelp.club/
BiliBili　　https://space.bilibili.com/10060483

Special Thanks
　青空文庫　威沙

青空文庫を全デバイスで楽しめる青空ヘルパー http://aohelp.club/
※この本の作成には文庫本作成ツール『威沙』を使用しています。
http://tokimi.sylphid.jp/